

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	孫 月鷲		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>語学の学習はただ発音や単語の習得、文法の理解だけでは深まらない。即ち、その国の歴史、風俗および生活習慣など、いわゆる「文化」を理解することによって言語の習得は促進される。本授業は、中国語の初級課程を終えた人を対象に、中国の歴史、文化についての理解を深めながら、聞く、話す、読む、書くという総合的な練習を通じて、中国語の理解力、会話力、書く力を身につけることを目的とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一、第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
選択中国語第一、第二

【教科書等】
<p>『身に付く中国語コミュニケーション - 読解編 - 』隆美出版 参考書：中日辞典を用意してください。授業で紹介します。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

後期では前期と同じように、毎回の授業で「聞く、話す、読む、書く」の練習を重ね、基本文法、文型、中国語の特殊な表現、慣用語および簡単な手紙の書き方などを身につけるための授業を進めたい。また、テキストにしたがって、1課を2週間で終わるよう進みたいと考えている。後期授業終了前に小テストと後期テストを行う。なお、中国語学習の背景として、中国の文化を理解させるために、中国語の関連知識と中国の映画を紹介する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中練習問題の回答、小テストの成績、出席状況、授業態度などを考慮し、期末試験を総合して評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。

【学生へのメッセージ】

積極的に学習する態度が望ましい。語学の勉強には毎日の復習、予習が欠かせないもので、授業日以外の日にも予習、復習してほしい。

【その他】